

市政レポート vol.6

発行：柏市議会議員 桜田しんたろう <http://www.s-sakurada.jp...>
〒277-0814 柏市正連寺 373-1 FAX：04-7135-3821



桜田 さくらだ しんたろう

柏清風所属（構成員14名の保守系最大会派。現在副幹事長）平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度
決算審査特別委員会。平成30年度、令和元年度 常任委員会 総務委員会に所属。令和3年度、常任委員会
市民環境委員会（副委員長）に所属。令和3年度、議会運営委員会。令和3年度、議会広報委員会。



令和4年 第3回定例会

定例会日程	開会（招集日）	令和4年9月2日
	質疑並びに一般質問	9月8日～15日
	常任委員会	9月16日・20日
	閉会（採決）	令和4年9月22日

令和4年第3回定例会では、市長より4年度補正予算案が示され、原油価格・物価高騰、新型コロナウイルス感染症への対応を含む補正予算が可決されました。また、桜田しんたろうは9月定例会にて登壇し、多くの地域の諸問題について一般質問を行いました。

可決された主な議案の内容

電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金

事業費 23億2,109万円

介護・障害福祉サービス、保育園・幼稚園事業者向け物価高騰対策支援助成金

事業費 2億6,736万円

肥料価格等高騰対策支援

事業費 8,000万円

子どもの学び応援事業

事業費 3億9,000万円

公共交通事業者燃料価格高騰対策支援事業

事業費 4,592万円

新規感染者数・自宅療養者数急増への対応

事業費 24億9,534万円

- ①「柏市コロナフォローアップセンター」運営体制の拡充
- ②感染症医療費公費負担
- ③無料PCR検査事業
- ④自宅療養者への支援物品の配送

定例会 質疑並びに一般質問

1 千葉北西連絡道路について 千葉北西連絡道路整備の進捗状況



千葉県北西地域の道路ネットワーク

2 防災・水害対策について

- (1) 田中調節池の越流提移設・堤防の強化
- (2) 水害対策

3 経済産業行政について

柏北部公設市場「併設 道の駅」検討業務

4 教育行政について

- (1) 柏北部東地区新設小学校整備
ア 開校後の外構工事 イ 通学路の安全確保
- (2) 田中中学校整備

5 柏駅周辺のまちづくりについて

- (1) 東口ダブルデッキ上での社会実験
- (2) ごみのポイ捨て対策

6 地域づくりについて

- (1) 柏の葉近隣センター
- (2) 北部近隣センター

7 スポーツのまち柏について

・柏二中相撲部 ・柏ゴールデンホークス

8 ウイングホール柏斎場について

火葬場の現状と対策

9 柏市役所第10駐車場について

駐車場の安全確保

千葉北西連絡道路について

千葉北西連絡道路整備の進捗状況

- Q 第3回千葉北西連絡道路検討会では、基本方針の骨子がまとまったと聞く。検討会の内容は。
- A 8月23日に第3回千葉北西連絡道路検討会が開催された。検討会では、新たに千葉北西連絡道路の概略計画検討に向けた基本方針の骨子として3つの項目を取りまとめた。1点目は、千葉北西連絡道路の起終点である。野田市内で国道16号と交差するつくば野田線以北を起点とし、印西市内の国道464号付近を終点とする。2点目は、求められるサービスレベルであり、業務核都市間のほかの地域との連絡性を考慮し、核都市広域幹線道路としての機能を備えること、多車線の自動車専用道路とすること、広域的な道路ネットワークとして機能を最大限発揮するための常磐自動車道及び国道6号へのアクセスに配慮することを盛り込んでいる。3点目は地域への配慮事項であり、河川、鉄道といった既存インフラ機能に影響を与えないよう考慮すること、ルートや構造の検討に当たっては自然環境や地域分断に配慮すること、国、県、沿線自治体が連携して取組を進めることである。これらを踏まえ、次回以降の検討会において沿線自治体の意見を踏まえた基本方針の策定を予定している。基本方針の策定後は、概略ルートや構造の検討といった計画段階評価が進められることとなり、その後環境影響評価や都市計画決定の手続きを経て、事業化される流れとなる。

経済産業行政について

柏北部公設市場「併設 道の駅」検討業務

- Q 現況と今後のスケジュールは。
- A 場内事業者に対して公設市場の活性化と併設道の駅の可能性に関するアンケート調査を行う予定。市民に対する意識調査を行う準備も進めている。今後の予定は、公設市場を取り巻く環境や課題等を整理し11月には中間報告、3月中には最終報告として取りまとめを行う予定である。

教育行政について

柏北部東地区新設小学校整備

ア 開校後の外構工事

- Q 敷地の外周部その2工事は、工期が令和5年7月までである。登下校の際は、児童の安全に十分配慮するように。また、その3工事は敷地内の工事である。これらの安全対策は。
- A 児童生徒の安全の配慮については、施工業者と十分協議を行い、最善の注意をしながら工事を進める。

イ 通学路の安全確保

- Q 開校に向け通学エリアや通学路が大きく変わる。通学路の安全対策として、路側帯やグリーンベルトの標示、歩道のない場所には歩道の確保、信号機の必要な交差点には設置を。危険な箇所にはガードレールの設置を。令和5年4月開校までの通学路の整備状況は。
- A 移転開校に向け児童が安全に登下校できるように学校、保護者、警察、道路管理者、関係町会等と連携し、引き続き危険箇所の把握に努め、実現可能な安全対策に取り組む。



柏北部東地区新設小学校

田中中学校整備

- Q 田中地域の生徒の増加に伴い、田中中学校は教室不足への対応の為、令和7年度に校舎を増築予定だが、増築校舎の位置と規模は。
- A 整備教室数は、既存校舎と合わせて普通教室36教室、特別教室6教室を整備する。位置については、敷地の西側にすることでグラウンドをなるべく削らないよう配慮し、200mトラックなど学校の運営上必要なスペースについては最大限これを確保できるような形にする。規模は、4階建て、延床面積は、6,000平米となる予定である。
- Q 今年の5月に第1回目のヒアリングを行ったが、どのような意見や要望、質問があったか。また、田中中学校は私の母校でもあります。たなかの里やモニュメント、記念碑等、残せるものは極力移設して残すように要望する。
- A 工事中の教育活動に支障がないように配慮して欲しいというご意見を頂いた。特にこの工事について、テニスコートの一部を工事エリアで使用するので、別途テニスコートを整備する。その他、地元の方の交流の場を確保して欲しいという意見を頂いたので、1階の会議室をセキュリティーに配慮した形で外部からも利用出来るような形で現在検討を進めている。

地域づくりについて

柏の葉近隣センター

- Q 柏の葉近隣センターの整備に向けた進捗状況は。
- A 現在柏の葉ふるさと協議会と2カ月に1回のペースで検討会議を行い情報の共有を図っており、地域住民の交流、防災の拠点として必要となる機能について具体的な提案を頂いた。市としては、ご提案も含め、庁内の関係部署と協議を行い、柏の葉近隣センターの整備に向けた検討を進める。

北部近隣センター

- Q 田中近隣センターを工事するにあたり、田中近隣センターの機能を北部近隣センターに移動したが、団体が体育館を利用した際は、道路まで車が続き、駐車スペースが無い状況。利用者が増えるにあたり、駐車場の対応はどのように考えていたのか。
- A 田中近隣センターの工事に伴う北部近隣センターへの出張所機能の移転に伴い、駐車場の更なる混雑が予想されたことから隣接する田中北小の敷地内に公設の公用車駐車スペースを設け、利用者向け駐車場の確保に努めた。しかしながら、議員ご指摘のとおり、体育館の利用者が多い場合には従来通り駐車場が混雑し、周辺道路への路上駐車も見受けられる状況。市としては、利用者向け駐車スペースの不足につきましては、来年4月に移転を予定している田中北小の跡地活用と併せて解決に向けた検討を行って行く。



北部近隣センター駐車場